

公安委員会定例会議(第13回)の開催状況

第1 日 時 令和5年5月24日(水)

午後2時06分 ～ 午後2時55分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、佐伯委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

本日は、世阿弥の言葉である「初心忘るべからず」にまつわる話で、ある弁護士協会の会長が後輩弁護士の結婚式で述べた祝辞をご紹介します。

「先日、秋田県に住んでいる弁護士の88歳のお祝いに行ったところ、その弁護士は「僕は弁護士をやってきてよかった。子供もきちんと育てることができたし、いい人生であった」と人生を振り返っていました。その翌日にオウム真理教の一連の事件で殺害された坂本弁護士の家にお参りに行き、坂本弁護士のお母さまに、「坂本弁護士は若くして亡くなってしまい残念ですね」と言葉をかけたところ、お母さまは、「いえ、息子は小さい頃から非常に正義感が強く、正義を貫きたいという思いで弁護士になりました。真偽を追究してオウム真理教と戦い、その結果若くして亡くなったことは残念ですが、息子は人生を全うしたのです」と仰いました。とても気丈なお母さまでした」

新郎の弁護士が会長の話をどのように受け止めたのかは分かりませんが、会長は「なぜ君は弁護士を目指したのか。『弁護士になりたい』という初心をいつまでも忘れないでほしい」と訴えていました。

私は会長の話を聞いて、「初心忘るべからず」という言葉の重みを思い出しました。私どもの会社は、機械に使われている歯車を製造していますが、その工程で使用する設備や工具の値段が高いことから、昔は参入するメーカーが少なく、ライバルは大企業ばかりでした。周囲からは職種の変更を促されたり、私自身もこのまま歯車を作り続けて良いものか悩んだりしましたが、「歯車を極める」という強い信念を持ち続けたことが今につながっていると思います。「歯車に特化してやっていく」という決断、「一度スタンスを決めたらブレることなく最後までやりきる」という決心が、今の事業を長く続けていくことができた秘訣だと思っています。

誰しもいろいろ悩むことがあると思いますが、悩むことがあれば、その都度、「どうしてこれに決めたのか」ということを思い出すと、また冷静に考え直すことができると思いますので、参考にしてください。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和5年第12回公安委員会定例会議の会議録について伺

いがあり了承した。

(2) 愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正

交通部から、愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正について伺いがあり了承した。

(3) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、18件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 110番映像通報システムの運用状況

生活安全部長から、110番映像通報システムの運用状況について報告があった。

委員から、「今は多くの人がスマートフォンを持っている時代であり、110番で映像を送信するシステムは、現場の状況を把握するために有効な手段だと思う。今後は高齢者等も使いやすくなるように改良を重ねていただきたい」との発言があった。

委員から、「通報者が送信する映像の著作権放棄や第三者のプライバシー侵害の防止等にも配慮している。素晴らしいシステムであるため、今後の警察活動に役立てていただきたい」との発言があった。

委員から、「非常に優れたシステムだと思うが、かなり緊迫した場面での使用が想定されることから、より早く映像送信できるように通報者には簡潔で分かりやすく説明するとともに、システムの改良にも努めていただきたい」との発言があった。

(2) 交通鑑識の活動状況

交通部長から、交通鑑識の活動状況について報告があった。

委員から、「交通鑑識は、犯人の特定や事故原因の追及等に欠かせない大事な仕事である。専門的知識を要することから、計画的に後継者の育成に取り組むとともに、先端技術を積極的に取り入れて捜査力の向上を図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「交通死亡事故等、何も言うことができない死者の無念を晴らすことができるのは科学捜査である。交通鑑識の活動によって事案の真相が解明されることは非常に頼もしい。今後も交通鑑識系の活躍を期待している」との発言があった。

委員から、「交通事故捜査は科学的な捜査が重要である。今後はますます科学捜査が重要となってくるので、技術を磨いて捜査力の向上に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(3) 風俗営業（社交飲食店）に係る不利益処分に伴う聴聞の実施

生活安全部から、風俗営業（社交飲食店）に係る不利益処分に伴う聴聞の実施について報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示において、「初心忘るべからず」のお話を御紹介いただいた。私が岩手県警察に勤務していた当時に東日本大震災が発生し、

全国警察から派遣された多数の応援部隊が救助活動等に従事した。相当に過酷な勤務であったが、多くの部隊員が口々に、「厳しい勤務だが、住民から多くの感謝の言葉をいただいて初心を思い出した」と話していた。警察職員は、拝命し警察学校に入校した当初は、誰もが「県民の安全安心を守る」という熱い思いを持っているが、長い年月が経過する中でそうした思いが薄れて仕事に悩み、初心を疎かにしてしまう者がいるかもしれない。初心を持ち続け、モチベーションが維持されるような教養に配意してまいりたい」「ご案内のとおり、G7広島サミットが終了した。県内においても各種警備諸対策を講じたところ、期間中大きな事案の発生はなかった。これもひとえに県民の皆様や関係事業者の方々の御協力のおかげである。首脳会合は終わったが、今後も関係閣僚会合が開催されるため、引き続き必要な対策を講じてまいりたい」との発言があった。

以 上